

# 敷網工法

軟弱な粘性土の埋立地などにおいて、合成樹脂製の網を地盤表面に敷設し、その上に良質土を撒き出し覆土を行う工法です。  
敷網の効果は、網の剛性と引張り強度によって得られます。

## 特長

敷網の剛性により、地盤の流動や破壊を防ぎながら覆土施工ができます。

200～300m角の超軟弱な埋立地を水搬施工により、一度に覆土が可能です。  
一年程度の天日乾燥を経た軟弱地盤に対しては、覆土の陸搬施工も可能です。

## 施工手順

合成樹脂製の網を敷設

隣接網を金具等で連結

カウンターバンク(盛土)  
を格子状に施工

バランスをとりながら  
覆土施工

## 施工状況



敷設状況

## 施工実績

工事名	工期	施工場所	発注者	目的	施工面積 / 覆砂(土)厚
香椎パークポート 地盤改良工事	91.11～92.10	福岡市	福岡市	軟弱な地盤上への覆土	60,000m <sup>2</sup> / 2.0m
芦田川浄化センター 地盤改良工事	92.12～94.3	広島県	広島県	軟弱な地盤上への覆土	96,500m <sup>2</sup> / 1.5m
中城港湾航路泊地工事	97.8～98.3	沖縄県	沖縄総合事務局	軟弱な地盤上への覆土	92,400m <sup>2</sup> / 1.0m
五日市地区埋立工事	97.10～98.1	広島県	広島県	軟弱な地盤上への覆土	23,100m <sup>2</sup> / 1.5m